

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	ON! 1 (音楽之友社)						
副教材等	つどい (啓隆社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上 に 示 す 観 点 に 基 づ い て、 学 習 の ま と ま り ご と に 評 価 し、 学 年 末 に 5 段 階 の 評 定 に ま と め ま す。 学 習 内 容 に 応 じ て、 そ れ ぞ れ の 観 点 を 適 切 に 配 分 し、 評 価 し ま す。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】 翼をください ありがとう 少年時代 ハナミズキ	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーソロに挑戦しよう	【器楽】 アルトリコーダー ソロ曲 おおスザンナ 主よ人の喜びよ メヌエット リベルタンゴ	○	○	○		a: リコーダーに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: リコーダーの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	題名と音楽のかかわり	【鑑賞】 動物の謝肉祭	○			○	a: 音楽で扱われる曲名と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている	観察 ワークシート
	リズムに親しもう	【創作】 簡単なリズムアンサンブルをつくろう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 野ばら (原語唱)	○	○	○	<p>a:「野ばら」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。</p> <p>c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歌詞にこめられた想いを聴こう	【鑑賞】 島唄 オキナワの背景 歌詞の本当の意味	○			○ <p>a: 歌詞にこめられた文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦しよう	【器楽】 ギター アポヤンド奏法	○	○	○	<p>a: ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じどのように演奏するか表現意図を持っている。</p> <p>c: アポヤンド奏法をするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	ギター二重奏に挑戦しよう	【器楽】 ギター アルアイレ奏法 和音奏法	○	○	○	a: ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アルアイレ奏法をするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 未来へ	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高校生の美術 1」 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○感じ取ったことや考えたことを基に創ろうとする作品の主題を生成し表現する「絵画」と、目的・機能・美しさなどを考えて創ろうとする作品の主題を生成し表現する「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動も含めた「鑑賞」の分野について学習します。

○表現材料の材質を生かした使い方や制作手順、色彩の配色、表現方法の工夫など創造的な表現を深めて行きます。一人ひとりの違った感じ方や見方を認識し合いましょう。日本の美術の歴史や表現の特質を美術作品に触れて認識しましょう。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、様々な価値観や世界観を通して美術文化を知る。授業を受ける時の注意。準備する物品の説明。	◎			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	「私のパラダイス」のイメージ表現	[デザイン] ・課題テーマを踏まえて自分が創ろうとする作品の主題をアイデアスケッチ(エスキース)を通して探り見出し自覚する。 ・色彩の基礎を教科書等を通して知り、色をデザインする配色を工夫し色彩を構成する。	◎	◎	○		a:課題テーマ「私のパラダイス」のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色などの働きを考えて創造的な表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の材質を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	夏期課題「ポスター」	[デザイン] ・様々なポスターコンクールに参加し、作品を校外に発表する経験を味わう。 ・1学期の復讐を目的とし次学期に向けての取り組みを向上する	◎	◎	◎		a:ポスターを創ることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、創造的な表現をしようとしている。 b:文字と絵柄との構成を考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具などの材質を生かし、表現方法を工夫して、各コンクールの条件を基に創造的な表現をしている。	アイデアスケッチ 作品

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書道 I」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
- ・行書から入り、楷書・篆書などの書体や仮名を学んで、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指します。
- ・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組みようとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写と書道	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科書写と芸術科書道(硬筆も行う) 用具・用材 姿勢・執筆法 いろいろな線による広がり 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 書写と書道の違いと密接な関連について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 姿勢や執筆法の基本を身に付け表している。 d: 書写と書道の類似点・相違点を理解し、多様な線質による表現の違いを感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書(行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・行書による学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> a 行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 様々な用具用材の違いを理解し、表現を工夫している。 c: 筆の弾力を利用し、行書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d: 古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書 作品制作(顔彩使用) 相互鑑賞会 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 創作活動について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2学期	篆刻	・姓名印の制作 篆書体	○			○	<p>a: 名前の篆書体を調べて書体の変遷について関心を持ち、印の表現活動に、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。</p> <p>c: 趣のある印を制作するための印刀を扱う技法を身に付け表している。</p> <p>d: 方寸の世界のおもしろさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・楷書による学習 基本・臨書・鑑賞 画仙紙での多字数作品制作 相互鑑賞会	○	○	○		<p>a: 楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 用筆法による表現の幅を理解し、表現を工夫している。</p> <p>c: 筆の弾力を利用し、楷書の基本的な用筆法を身に付け表している。</p> <p>d: 古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3学期	仮名の書	・仮名による学習 基本・臨書・鑑賞 連綿・散らし書き 短冊・色紙 硬筆	○	○		○	<p>a: 仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。</p> <p>c: 基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。</p> <p>d: 日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度 b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)						
副教材等	つどい (啓隆社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 Caro mio ben Nel cor piu non min sento (原語唱)	○	○	○		a: 歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 ギター 10曲の中から選択	○	○	○		a: ギターの応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムに親しもう	【創作】 Clapping アンサンブルをつくらう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感じしながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	ミュージカルに親しもう	【歌唱】 ミュージカルセレクション (原語唱)	○	○	○	a: ミュージカルの曲中で使用されている曲の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	絵画と音楽の関係を聴こう	【鑑賞】 展覧会の絵 ムソルグスキー作曲	○			○ a: 絵画と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦しよう	【器楽】 ギター 弾き語り	○	○	○	a: ギター弾き語り奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: ギター弾き語りをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	グループアンサンブルに挑戦しよう	【歌唱・器楽・鑑賞・創作】 グループアンサンブル	○	○	○	a: グループアンサンブルの特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 群青	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じしながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「高校美術 2」 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し心豊かに創造的な表現をする「絵画・彫刻」と、自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し生活を美しく豊かにする創造的な表現の「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○主題に合った表現方法の工夫、表現形式の選択、表現材料の工夫、目的や条件を踏まえたデザイン効果などを心がけ、心豊かに創造的な表現に取り組みましょう。時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性を知り美術文化の理解を深めましょう。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な観点から創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅱ」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅱの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 1年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めようとする。 d: 美術作品の価値や世界の多様性を知り美しさやよさの質を探り美術文化の理解を深めようとする。	学習活動の様子
	「私の好きな場所」をテーマとする絵画表現	[絵画・彫刻] ・自己の内面や自分を取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練り、アイデアスケッチなどにより自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追及し、やり切る。	◎	○	○		a: 「私の好きな場所」というテーマを基に自己の内面を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから、主体的に主題を生成している。 b: 形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 c: 表現目的や意図に応じて材料や用具の特性や効果を生かす工夫をしている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	夏期課題「ポスター」	[デザイン] ・様々なポスターコンクールに参加し、作品を校外に発表する経験を味わう。 ・1学期の復讐を目的とし次学期に向けての取り組みを向上する	◎	◎	◎		a: ポスターを創ることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b: 文字と絵柄との構成を考えて表現の構想を練っている。 c: アクリル絵の具などの材質を生かし、表現方法を工夫して、各コンクールの条件を基に表現している。	アイデアスケッチ 作品

2 学期	絵本を作る	[デザイン][鑑賞] ・アイデアスケッチ 課題テーマ「Happy」「Special」の いずれかを選択しスケッチする。 ・制作 アクリル絵の具やクレパスや色 鉛筆など必要な素材等を使って 制作する。 ・作品を読み聞かせ発表する。 相互鑑賞と鑑賞文の発表。	◎	○			a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件を踏まえて表現する事に関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:ストーリーを通して伝えようとする内容からデザインの目的、機能、美しさなどから創ろうとする絵本の主題を生成し、表現材料や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて表現材料の材質を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きや作品の理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	新しい美術の表現	[鑑賞] ・様々な表現方法を今日の生活の中から調べ、その中で自分が最もよさや美しさを感じ取る作品を選び、表現の特徴や工夫についてまとめる。 ・作品について調べる。	◎			◎	a:作品や作者の個性などに関心をもち、発想や構想の同時性、表現の工夫などについて分析している。 d:心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きについて理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子
3 学期	紙を使って「動物」の立体を創ろう	[絵画・彫刻] ・アイデアスケッチ ・制作 ケント紙の材質を生かし、面と面を組みあわせて立体を作る表現方法を工夫する。	◎	◎	○		a:創ろうとする作品の動物を決め、その動物の特徴や表情を表現することに関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:どのような面を組み合わせるか、形体を工夫して構想を練っている。 c:ケント紙の材質を生かし表現方法を工夫して創造的に表現している。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度 b…発想や構想の能力
c…創造的な技能 d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書道Ⅱ」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・漢字の歴史を追いながら作品を制作し、書の文化と伝統についての理解を深めます。
- ・立体的な書として「刻字」作品を制作し、自己表現の幅を広げます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書(書体の変遷)	・篆書による学習 基本・臨書・鑑賞 甲骨文 小臣觶犧尊 石鼓文(半切1/2)	○		○	○	a: 篆書の成立やその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 篆書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 篆書の造形美や特徴を深く理解し、書と文字と文化について幅広く考え、篆書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・隸書による学習 基本・臨書・鑑賞 礼器碑(半切1/2)	○		○	○	a: 隸書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 隸書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 書と文字と文化について幅広く考え、隸書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・草書による学習 基本・臨書・鑑賞 十七帖(半切1/2)	○		○	○	a: 草書の成立や特徴について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 草書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 書と文字と文化について幅広く考え、草書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2 学期	2 字 創 作	・二字熟語による創作作品制作(5書体による書き分け) 半切1/3 相互鑑賞会	○	○	○	<p>a:学習してきた古典を背景に、漢字作品の制作に意欲的・積極的に取り組もうとしている。</p> <p>b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	・漢字仮名交じりの書 作品制作(1/3) 相互鑑賞会	○	○	○	<p>a:漢字と仮名の調和をはかりながら、創造的な作品制作に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	刻 字	・刻字 書稿制作 籠字 彫る	○	○	○	<p>a:立体書としての美の表現に興味・関心を深め、基礎・基本の刀法や表現技法を主体的に身に付けようとしている。</p> <p>b:刻字の表現分野を理解して感性を豊かにし、創造性豊かな表現の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3 学期	刻 字	彩色 仕上げ 相互鑑賞会				<p>c:刻字の表現をするための刀法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</p> <p>d:刻字の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。</p>	

	大字書	・大字書 半截	○	○		a:大字書の制作に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:体全体を使って大作を制作している。 d:大作作品のよさや迫力を創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
--	-----	------------	---	---	--	--	----------------------------------

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
 c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）						
副教材等	つどい（啓隆社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 sogno (原語唱)	○	○	○		a: 歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボード弾き語り挑戦しよう	【器楽】 キーボードおよびピアノ 10曲の中から選択	○	○	○		a: キーボードの応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 弾き語りするためにキーボードの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	作曲に親しもう	【創作】 簡単な作曲		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感じながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	ミュージカルに親しもう	【歌唱】 ミュージカルセレクション (原語唱)	○	○	○	a: ミュージカルの曲中で使用されている曲の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	絵画と音楽の関係を聴こう	【鑑賞】 ボレロ ラベル作曲	○		○	A楽器と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	弦楽合奏に挑戦しよう	【器楽】 弦楽器 ヴァイオリン チェロ	○	○	○	a: 弦楽合奏の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 弦楽合奏をするために弦楽器の基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	グループアンサンブルに挑戦しよう	【歌唱・器楽・鑑賞・創作】 グループアンサンブル	○	○	○	a: グループアンサンブルの特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 青い鳥	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校美術 3 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて独創的な主題を生成し個性を生かした創造的な表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○主題に合った表現方法の工夫、個性を生かした創造的な表現やデザインを心がける。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅲ」の学習内容について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 2年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。 d: 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。	学習活動の様子
	自分をモチーフとして作品を作る	[絵画・彫刻] [鑑賞] ・絵画 50号F以上の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る。 ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: 独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的な表現を迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	バラをモチーフにして作品を作る	[デザイン] [鑑賞] ・B 全の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。」	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインを迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	美術の世界	[鑑賞] ・教科書の作品を通して、今日の社会と美術との関わりをまとめる。	◎			◎	a: 美術に関する職業から、美術の世界の広がりを理解している。 d: 国際理解に果たす美術の役割について理解している。	ワークシート 鑑賞活動の様子

平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校美術 3 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて独創的な主題を生成し個性を生かした創造的な表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。
○主題に合った表現方法の工夫、個性を生かした創造的な表現やデザインを心がける。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅲ」の学習内容について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 2年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。 d: 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。	学習活動の様子
	自分をモチーフとして作品を作る	[絵画・彫刻] [鑑賞] ・絵画 50号F以上の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る。 ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: 独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的な表現を迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	バラをモチーフにして作品を作る	[デザイン] [鑑賞] ・B 全の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。」	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインを迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	美術の世界	[鑑賞] ・教科書の作品を通して、今日の社会と美術との関わりをまとめる。	◎			◎	a: 美術に関する職業から、美術の世界の広がりを理解している。 d: 国際理解に果たす美術の役割について理解している。	ワークシート 鑑賞活動の様子

